

研究課題名	脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血後の脳血管攣縮に関する研究
実施責任者	所属・職名： 脳神経外科 部長
	氏名： 鈴木 宰
研究の概要	実臨床におけるクラゾセentanが使用可能な状況での脳血管攣縮予防成績を調査し、クラゾセentanの臨床的意義（脳血管攣縮予防効果、脳血管攣縮による脳梗塞発生抑制効果、日常生活自立度改善効果）を明らかにします。 研究実施承認日以降に脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血に対し48時間以内に手術治療を行った患者様の治療経過を前向きに観察し、2021年4月1日～2022年3月31日の期間で同様の疾患に対する治療を行った患者様の治療経過と比較します。
対象となる個人情報	治療が行われた日に年齢が満18歳以上である成人患者。 カルテ情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、入院中の画像データ等
実施の期間	西暦 2021 年 4 月 1 日より
	西暦 2024 年 3 月 31 日まで
研究対象	本研究の対象者は2021/4/1～2022/3/31及び 本研究の実施承認日から2024/3/31までの期間に、 脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血にたいして48時間以内に手術治療を行った患者様。